

# 世界の民族衣装展 縞模様のある衣装



今年度 第一回目の世界の民族衣装展は、収蔵品の中から「縞模様」の衣装を展示いたします。

縞模様は色の組み合わせや幅の違いによって印象が変わったり、タテ・ヨコ・斜めや縞と縞を交差させて格子縞になったりします。また、連続した柄の列によって縞模様を作ることもあります。2色で構成される縞から多色で構成される縞など、実に変化に富んだ効果をもたらす柄になっています。色や幅の構成によっては、見る人の目を惑わせるような感覚になることもあります。

今回の展示では、裾幅を広げるために脇からタテ縞を三角形にはぎ合わせることで表情が豊かになるトルコの女性用のコート、縞と縞の間に細かい柄を織り込んだブータンの女性用衣装の「キラ」、細幅の布を20枚以上もはぎ合わせたガーナの男性用衣装の「ケンテクロス」、メキシコやグアテマラの色鮮やかな縞模様の衣装等を展示いたします。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

## 平成29年7月4日（火）～8月6日（日）

会場 桐生地域地場産業振興センター  
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00～16:00

休館日 月曜日 入場料 無料

